

「鹿児島商業高等学校のせばる隼人舞伝承活動の取組」

1. 学校名	鹿児島商業高等学校	
2. 学年・人数	全学年 10人	
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年10月29,30日、11月4,5,7,13,20日 坂元台公民館</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年11月23日 坂元台小学校 体育館</p>	
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 せばる隼人舞（せばるはやとまい）</p> <p>(2) 由来 せばる隼人舞は、隼人地域に古くから伝わる奉納芸能で、五穀豊穡や地域の安全を祈るために舞われてきた。古代の隼人族の武勇に由来し、弓を扱う動作などが舞に取り入れられている</p> <p>(3) 構成等 鹿商生が演じる「弓の舞」は、弓を構える・引く・放つ動作を中心に構成され、太鼓のリズムに合わせて隊形を変化させながら進行する。</p>	
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>せばる隼人舞の伝承活動は、保存会・生徒会・有志の生徒・地域住民が連携して行われている。今年度からは授業ではなく、生徒会や有志の生徒による自主的な活動として取り組み、保存会が指導しながら練習や行事参加を支えている。地域住民や保護者も運営面で協力し、地域全体で文化財を継承・活用する体制が整っている。</p>	
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	 <p>練習の様子</p>	 <p>本番の様子</p>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて舞を体験して、動きの意味や歴史を知り、地域の文化に誇りを感じた。 ・太鼓の音に合わせて踊ることが難しかったが、保存会の方が丁寧に教えてくれたので楽しく覚えられた。 ・伝統を受け継ぐ大切さを実感した。 	